

平成30年度事業計画について

人口減少時代において、交流人口の増加と地域経済の活性化をもたらす「観光」は極めて重要な分野であり、今後ますますの成長が期待されています。

今年は、明治維新から150年を迎える大きな節目の年であり、本県において50年ぶりに「国体・障スポ」が開催されます。また、北陸新幹線、中部縦貫自動車道の整備がさらに進み、小松空港ではLCCの就航により台湾便がデイリー化されるとともに香港チャーター便の増便が見込まれるなど、まさに本県にとって「大交流時代」の始まりの年となります。

このため、当連盟では、引き続き観光の魅力発信を一層強化し、三大都市圏や新幹線沿線、中・四国からの誘客を積極的に行います。また、行政や観光事業者の方々と引き続き連携を深めながら、魅力あふれる観光素材の磨き上げを行います。

加えて、本県観光地へのツアー助成を行うとともに、観光客の多岐にわたるニーズの把握に努めながら、国内外からの誘客促進と情報発信と強化を行います。

平成30年度重点戦略

- 1 来年度からの北陸新幹線の修学旅行用団体列車の特別割引運用開始や34年度の北陸新幹線敦賀開業に向けて、首都圏・北関東・信越からの観光客や教育旅行などの誘致活動を県・市町・観光事業者などと連携して行います。
- 2 地域や旅行会社と連携して観光素材の磨き上げを行い、福井の魅力を感じることが出来る旅行商品の造成やプロモーションに努め、観光客のニーズにあった受入体制を整備し、誘客を促進します。
- 3 ホームページの充実やSNSの活用に加え、北陸新幹線開業効果を活かして、金沢市における観光情報発信の強化を図り、国内外の誘客拡大に努めます。
- 4 現地の営業窓口と連携した海外旅行社への営業や現地商談会の開催により、台湾、香港、中国などアジアからの誘客を積極的に行います。

I 観光情報の収集と情報発信

1 ふくいドットコム運営管理事業 (8,286千円)【補助事業】

福井県観光情報ホームページ「ふくいドットコム」を運営・管理し、サイトコンテンツの一層の充実を図ることにより、本県への観光客の誘致拡大、物産の販路拡大を図る。

- ・観光地・物産等の情報掲載にかかるコンテンツ更新
- ・観光写真の追加

2 外国人観光客受入体制強化事業 (1,976千円)【補助事業】

外国人に対する本県観光の魅力発信および誘客拡大のため、スマートフォン、タブレット端末等へ対応した、福井県観光情報ホームページ「ふくいドットコム」のフランス語版ページを作成する。

3 観光情報メディア発信事業 (4,839千円)【補助事業】

観光客への情報を発信するため、大手宿泊予約サイトと他メディアとのコラボレーションや連動キャンペーンなどを実施し、タイムリーな情報を効果的に全国に発信する。

4 新 金沢市内周遊観光バス広告掲出事業 (2,944千円)【補助事業】

北陸新幹線金沢開業を活かし、引き続き首都圏および北関東・信越地域からの観光客・ビジネス客の増加が見込まれる金沢市内の周遊観光バス内に広告を掲出し、本県の観光情報を発信する。

5 首都圏主要駅PR事業 (2,427千円)【補助事業】

北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向けて、福井県の認知度をさらに向上させるため、観光情報発信の拠点となる首都圏のJR主要駅に観光ポスターを掲出する。

6 旬の魅力PR・発信事業 (1,660千円)

観光スポットや旬のイベント・食・土産等の具体的な情報を紹介した旅の特集を企画し、ホームページ「ふくいドットコム」で発信する。また、県外の旅行会社や旅行雑誌社および海外の旅行会社等に対して、「福井の季節イチオシ情報」(年4回)を発信し、旅行商品の造成を推進する。

7 広域観光助成事業 (1,114千円)

主要高速道路のサービスエリアに年間を通して旬の観光情報パンフレットを配架し、県内観光情報の発信を強化する。

配架先：長良川SA下り(東海北陸自動車道)

大津SA上り(名神高速道)

西紀SA下り(舞鶴若狭自動車道)

8 新 福井を感じるお宿の魅力発信事業 (3,069千円)【補助事業】

民宿や料理旅館などの魅力を効果的に発信し、客室稼働率の向上と誘客拡大を図る。

- ・モニターツアーの実施による情報発信
- ・福井を感じる民宿や料理旅館などを紹介するガイドブックの作成

II 国内・海外の誘客推進

1 国内からの誘客

(1) ふくい観光誘客強化事業 (12,707千円)【補助事業】

①福井県をPRする特集記事への助成

福井県をPRする旅行パンフレットや特集記事の提案に対し、内容に応じて助成する。

②旅行会社への営業等

(2) バסטツアー造成促進事業 (2,000 千円)【補助事業】

首都圏、中国・四国方面等からの新たな観光誘客を図るため、バストツアーを企画する旅行会社に対し、バス代を一部助成する。

(3) 県外観光商談会開催事業 (3,708 千円)【補助事業】

東京、大阪、名古屋において、県内の観光関連事業者が現地の旅行会社のキーマンと商談を行う機会を設定し、販路開拓を支援する。

(4) 現地メディア等への営業活動事業 (858 千円)【補助事業】

本県への誘客促進を図るため、首都圏、関西、中京のメディア等に対して観光PR等の営業を行う。

(5) 福井を学ぶ体験旅行推進事業 (5,226 千円)【補助事業】

三大都市圏、信越、中国・四国等からの修学旅行や合宿等の誘致を強化するため、教育関係者の招へいおよび旅行会社や大学等への営業訪問、修学旅行における福井県オリジナル体験メニューの体験料助成を行う。また、北陸3県、JR、北陸経済連合会との連携による修学旅行フェアを東京で開催する。

(6) 県外イベント等出展事業 (2,902 千円)【補助事業】

「ふるさと全国県人会まつり」(愛知県)、「天皇杯全国都道府県対抗男子駅伝」(広島県)等、県外イベントでブースの出展を行い、福井県の認知度向上を図る。

(7) 観光宣伝隊管理・運営事業 (1,775 千円)【補助事業】

県内外における観光キャンペーンやイベント会場等に同行する「福井県越前若狭の観光宣伝隊」の管理および運営を行い、県内の各種団体からの要請に応じて観光宣伝隊を派遣し、宣伝業務を実施する。

2 海外からの誘客

(1) 外国人観光客誘致拡大事業 (20,330 千円)【補助事業】

海外からの観光客誘致を拡大するため、台湾や香港をはじめとする海外からの貸切バスを利用した本県への旅行商品を造成する旅行会社に対し助成する。また、現地商談会の開催や旅行博等での現地プロモーション、海外の旅行会社等への営業活動、教育旅行視察の受入等を行う。

Ⅲ 地域活性化の推進と人材育成支援

1 観光客誘致体制強化事業 (18,590 千円)【補助事業】

民間の専門家を2名配置し、観光団体や旅行会社、JR等との連携により誘客を促進する。

特に、観光地の活性化、2次交通アクセス等課題への対応、旅行商品の売り込み、首都圏への営業活動や情報発信等を行う。

2 JR 金沢駅内福井県観光案内運営事業 (12,787 千円)【補助事業】

J R 金沢駅の「石川県金沢観光情報センター」内に福井県観光コンシェルジュを配置し、北陸・金沢を訪れる観光客に対し本県の観光地の P R を行い、誘客拡大を図る。

3 広域観光連携事業 (1,550 千円)【補助事業】

中部および北陸の観光関係機関が広域的に連携し、国内および海外からの観光客誘致活動を実施する。

①北陸三県観光連盟共同事業

北陸 3 県観光連盟が共同で、首都圏旅行会社等への営業、メディアを活用した観光 P R 等を実施する。

②北陸三県誘客推進連携協議会への参画

北陸 3 県、J R 西日本、北陸経済連合会が連携し、首都圏・中京圏・関西圏等において北陸の魅力を P R するとともに、旅行会社への売り込みを行う。

③(一社)中央日本総合観光機構への参画

中部 9 県 3 市の観光事業者や民間が広域に連携して商談会の実施や国内外で開催する観光 P R イベントに参加し、国内および海外からの観光客の誘致を促進する。

5 着地型旅行商品企画販売事業 (10,798 千円)

本県への観光客誘致拡大を図るため、地元の魅力ある観光資源を活かした着地型旅行商品の企画販売を行う。

6 優良観光土産品推奨事業 (467 千円)

県内の優れた観光土産品を推奨し、ホームページ等で紹介することにより、観光土産品の品質の向上と P R を行う。

7 地域活性化に取り組む団体の支援 (1250 千円)

観光ボランティアガイドや地域で実施する観光セッション等への支援、および地域イベント等に対する後援・協賛を行う。

8 ⑧幕末の地を巡るクイズラリー実施事業 (5,215 千円)【委託事業】

県内のゆかりのエリアで、謎解きクイズラリーを実施し、福井と幕末明治の関わりについて興味・理解を深めてもらう。

IV 組織運営

1 総会・理事会の開催

総会、理事会、正副会長会議、監事会等を必要に応じて開催する。

2 観光功労者等の表彰

観光振興に功績のあった団体・個人を表彰する。

3 観光連盟の活動紹介

ホームページ「ふくいドットコム」で連盟や会員の活動状況を紹介する。

4 関係団体の行う事業への負担金支出

(公社) 日本観光振興協会や(一社) 中央日本総合観光機構、観光振興や地域の活性化を目的とした団体へ負担金を支出する。